

すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ? T I M E S ' 1 2

VOL.4

平成24年7月6日発行

発刊元：塾熟カンパニー（事務局）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

7月2日
昼コース

お茶の間！だがしや楽校

自分に付属するものを媒介にして 自分自身とは何かを見せ合う



第3回目の昼コース、室内版のミニだがしや楽校が開催された。今回は、①自分みせを開く、②もっと良く「みせ」するためのアイデア提案、③宣伝ミニチラシづくり、の三本柱で行われた。講座の始めには受講生による5分間ミニ講座も。

★初！自分みせ！

さて、今回一番の目玉である「自分みせ」は、全部で10ほど開かれた。「生活陶器と折り紙」や「自作の甘酒」などなど。大人塾OGはカード屋さんを開いてくれた。その中で、ブラックシアターの人形劇に、文章を読むのが上手な方がコラボしていた。これを見ていると、それぞれの持ち味が重なり合うという新たな可能性も感じられた。また、高知県から一時から一時帰京の受講生からは、名産である芋けんぴや小夏みかんなどが持ち寄られた。この自分みせを見た受講生からは、「ただの観光物産展とは違って、なんでこれを持ってきたの？と話せるのがいい」という声も聞かれた。右の写真は、今回開かれた自分みせの一部だ。

受講生からは、実際に初だがしや楽校を行ってみて、「みせるものがあると話がはずむからいいよね！」という感想を聞くことができた。さらに、「自分もお客さんも一緒にできるみせ方が良いのでは」や、「説明書きがあると分かりやすい」といったアイデアの声が挙がっていた。学習支援者の松田さんから、「自分みせとフリーマーケットの違いをよく聞かれるんですが、フリーマーケットが商品とお金の交換なのに対して、自分みせは物や情報、技術などのみせられるものを通して、相手とコミュニケーションをとる、ということなんですね」と話された。下図は松田さんの考えを図式化したもの。

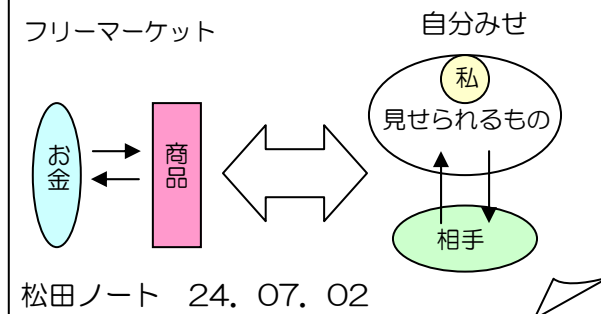
次回の拡大版だがしや楽校では、受講生の知人や大人塾OB・OGをお客さんに迎える。今回のアイデアを活かした、さらに工夫された自分みせが行われることだろう。

★知り合いを呼んで…

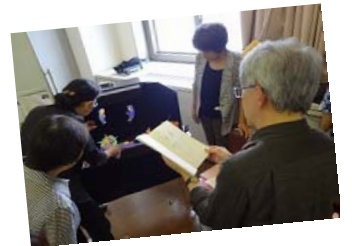
講座の最後に次回の拡大版だがしや楽校へ招待するためのミニチラシづくりが行われたが、ミニチラシづくりに対する受講生の熱の入れようからもお客さんに自分みせしたい！という気持ちが目に見えるようであった。(坂本)



松田さんからさくらんぼの持ち寄りも！



生活陶器と折り紙



ブラックシアターと朗読ワークショップのコラボ



りんごサンタ人形



続きは事務局へ。。



イラストを使い、まちの魅力を発信！ 7月4日 夜コース

公開講座：「まちの魅力を再発見する方法を考える」

■ 湯島本郷マーチング委員会はイラストで地域活性化

約 50 名の参加者！今回はまちの印刷屋さんであり、湯島本郷マーチング委員会の利根川英二さん(写真上)がゲストだ。利根川さんは幼馴染や知人・友人を巻き込み、地元の風景をイラストにして、それを使って展示会・ハガキ・切手への掲載、イラスト入りの商品の開発などの活動を展開。利根川さんが作ったマーチング委員会は、イラストをツールとした、地域おこしや情報発信のプラットフォームを目指している。

■ まず自分がやってみる

利根川さんの地元は本郷・湯島という東京でも有数の文化遺産が残る人気地域である。杉並では無理じゃない？となりがちであるが、それを理解した上で、受講生それぞれが自分や地域のこととしてしっかり受け止めてくれたのが大変嬉しかった。(参加者の声参照)



東大安田講堂

何気ないこと、身近なところに地域活性化のヒントがあること、商売でなく一緒に協力してもらえるにはどうすれば良いか(win-win の関係)など、湯島本郷に限らず、杉並でも役立つ話が盛りだくさんであった。何よりも、あまり地元が好きでなかった(?)利根川さんが、とにかく動き始めてみることで徐々に歴史に地域に興味がわき、そしてその行動力に人が引き付けられていく様子は「やる気=行動」が大事であることを実感させてくれた。(記事:湊)



マーチング委員会のキャラクター

●身近な所からチャンスを見つけて、地道な活動から人と人とのつながりを深めながら、欠かせない物を作り出すという発想は、全く思いつかなかった。ワークショップづくりの参考になりました。●“街・町”の可能性の奥深さを気づかされました。杉並にもまだ眠れる原石(ダイヤモンド)がある！と確信しました。●印刷の原点は「伝える」ということで、それを深く行なわれていると思いました。アナログの強さ、形になるコトの大事さがとてもよくわかりました。●文京区は街のポテンシャルが高いので、マーチング活動に向いていると思いますが、リーダーシップをとって動いてくださる方がいれば、どんな街でもその魅力を引き出すことができます。●活動の話を通じて、地域の「共助」の成長の機会があれば、地域の「自助」を活性化するためのアイデアについてお話いただければと思います。●歴史をひもとき、土地や建物の意味を解釈し直すことで、地域らしさが出てくることを興味深く感じました。●湯島本郷のようにいかないと思いつつも、杉並ならではの「まちの魅力発見の輪作り」をしていこうと決意できたのは、本日のお話を聴けたからです！●地元の人脈を生かしたアクション、とても参考になりました。●自身の生き方・仕事に生かせるキーワードがありました。●苦労難しかったことなどもお聞きしたかったです。●改めて自分の街を、区を見回すこと、歩いて見て、知る・考えるそして伝えることを一歩からはじめてみたいと思います。●アイデアは尽きることなくあるものです。要は行動力でしょうか。(アンケートより抜粋)

参加者の声だ！皆の意見から学ぼう！



■ 今月の大人“塾”

大人塾に参加中の…イカした！大人たちに聞きました！

① 出身 ②座右の銘、好きな言葉 ③ 自分のつながりIPR

植田 憲雄(sryuu 笑竜) ♂

①杉並区西荻南

②笑いが一番

③インターネットを楽しく使う！

上野 邦子(邦子) ♀

① 東京

② おせっかいは美德

③ 何も無いのがわたしです。皆様から刺激を受けてつながりのセールスポイント探していきます。

佐藤ミツル(ミツル) ♀

① 中野区

② 「笑う門には福来る」

③ 明るい選挙推進委員、犯罪被害者支援委員、健康づくり推進委員(荻窪保健所で活動)いろいろとやっています。

岩田ミホ(ペコ) ♀

① 栃木県

② 「今日も機嫌よくやんなさい」(映画のことば))

③ 和裁を中心に針仕事をしています。「トウキョウワッショイ」というサイトで、“路地裏コラム”を書いたりしていますー。

□すぎなみ大人“塾”してる？の発行にあたって□
この新聞は事務局スタッフ松坂・坂本・湊の独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。